主な議案

6月定例会（契約して掲載しています）

報告案件

■平成30年度刈谷市一般会計継続費の繰越しについて

継続費とは、数年度にわたり予算を支出するもので、完了までに期間を要する事業に適用します。

経費の総額や年割額はあらかじめ決められていますが、事業の進行状況により、順次繰り越して支出します。

・都市計画道路７・４・５５５刈谷駅前線道路新設改良事業
・住吉幼稚園移転新築事業

継続費の総額
17億９，５５０万３千円

令和元年度への繰越額
３億４，７５９万７千円

■平成30年度刈谷市一般会計繰越明許費の繰越しについて

繰越明許費とは、天候不順、交渉の不調などにより事業の完了が遅れた場合、翌年度に限り予算を繰り越して支出できるものです。

・議場等設備更新事業
・市役所第２駐車場整備事業
・屋外環境整備事業
・市道01－４号線他道路新設改良事業
・準用河川草野川改修事業
・都市交通計画調査推進事業
・市営住宅外部整備事業
・校舎等改修事業
・北部生涯学習センター施設改修事業
・井ケ谷幼稚園大規模改造事業　など24件

繰越総額
21億４，２６４万４千円

単行議案

■工事請負契約の締結について（（仮称）刈谷スマートＩＣ整備工事（橋りょう上部工））

問　契約工期は。

答　令和２年９月30日までである。

問　岩ケ池公園利用者への影響は。

答　本工事は、岩ケ池公園第１駐車場の一部を施工ヤードとする計画としているため、一時的に駐車台数が減少するなどの制限がかかる。これについては、昨年度、事前の対策として、第１駐車場の拡張や仮設駐車場の整備により不足する駐車台数を確保している。

■工事請負契約の締結について（（仮称）野田市民館建設（建築）工事）

問　工事開始と竣工時期は。

答　工事は７月に着工し、竣工は来年３月を予定している。

問　建設予定地の西側には交通量の多い市道がある。多くの市民が安全に市民館に通うための取り組みは。

答　市民館敷地内に幅約２メートルの歩道を設ける。

野田市民館
（イメージパース）

条例議案

■刈谷市税条例等の一部改正について

問　ふるさと納税についての改正内容は。

答　一部の地方公共団体において寄附に対する返礼品競争が過熱し、ふるさと納税制度の趣旨を歪めるような状況が見られている。そこで、本来のふるさと納税制度の趣旨に立ち返るため、返礼品の産地や返礼割合など一定の基準に適合する地方公共団体を総務大臣が指定し、その地方公共団体に対する寄附金のみをふるさと納税制度の対象とするものである。

その他、法人市民税が国に召し上げられてしまっているため反対などの意見がありました。

■刈谷市介護保険条例の一部改正について

所得に応じて
介護保険料の負担を軽減

問　上位法となる介護保険法施行令の改正の意図は。

答　本年10月に消費税引き上げが予定されている中、今後も保険料の水準が上昇することが見込まれるため、所得の低い方の負担を軽減するよう実施されるものである。

問　改正後の保険料額の根拠は。

答　今回の改正では、第１段階から第３段階の保険料率について、一定の範囲内で市町村の判断により引き下げることができる。本市は、引き下げできる最大幅を適用し、それぞれの保険料額を定めたものである。

■刈谷市国民健康保険税条例の一部改正について

問　上位法である地方税法施行令の一部改正の意図は。

答　所得に応じた負担の公平性の確保を推進するため、課税限度額を改正するものである。また、軽減対象世帯判定所得基準額の引き上げは、５割軽減と２割軽減の対象世帯について、所得水準の全体的な上昇により軽減対象から外れてしまうことがないよう、低所得者層の負担軽減を図る観点から基準額を拡大するものである。

問　改正による市への影響額は。

答　平成31年４月１日時点での世帯状況と、平成30年度の課税所得をもとに試算をすると、年間約９５６万円の増収になる見込みである。また、軽減対象世帯の判定所得基準額の引き上げによる本市の影響額は、同様の基準で試算をすると、年間約２２６万円の減収になる見込みである。

その他、医療費の増大については、保険税の値上げではなく、一般財源の繰り入れをするべきであると考えるため反対との意見がありました。

軽減対象世帯の
所得基準額を拡大

補正予算議案

全議員で構成する予算審査特別委員会を経て、企画総務、福祉産業、建設、市民文教の各分科会で審査されました。

６月14日に再度予算審査特別委員会を開催し、各分科会での審査結果について、各分科会委員長より報告を受け、17日の本会議においていずれも原案のとおり可決されました。

補正する額（一般会計）
▲７，３９１万９千円

補正後の予算（一般会計）
５８０億２，６０８万１千円

補正後の予算総額（全会計）
９１９億３，９７５万８千円

【主な事業】

プレミアム付商品券事業

子育て世帯及び住民税非課税者に対して、プレミアム付商品券を販売することで、市内における消費を喚起します。

問　商品券の販売単位は。

答　１冊５，０００円の商品券を４，０００円で販売し、１枚当たりの額面は５００円で10枚ワンセットである。

問　今後のスケジュールは。

答　９月中旬に、住民税非課税者で購入資格審査が終了した方と、平成28年４月２日から令和元年６月１日までに出生した子どもがいる子育て世帯に購入引換券を郵送する。商品券の販売は原則土日と祝日を除く10月１日から令和２年２月28日まで、利用は10月１日から令和２年３月31日までを予定している。

未婚の児童扶養手当受給者臨時給付金支給事業

未婚の児童扶養手当受給者に対して、臨時給付金を支給することで、未婚のひとり親家庭を支援します。

問　事業概要は。

答　令和元年10月31日を基準日とし、同年11月分の児童扶養手当の支給を受ける資格のある父または母のうち、過去に法律婚をしたことがない方に対し、児童の人数に関わらず１万７，５００円を支給するものである。

陳情の結果

今回市民の皆さん等から提出された陳情８件は、関係する委員会で審査された結果、いずれも不採択となりました。

▼公契約事業従事者の適正賃金と安定雇用を確保する公契約法の制定を求める意見書の提出を求める陳情

▼住民の安全・安心を支える行政サービス体制・機能の充実を求める意見書の提出を求める陳情

▼地方財政の拡充を求める意見書の提出を求める陳情

▼沖縄県民の民意を真摯に受け止め、地方自治を尊重し、辺野古の新基地など米軍基地建設の中止を求める意見書の提出を求める陳情

▼消費税率10％への引き上げの中止を求める意見書の提出を求める陳情

▼最低賃金の引上げ、全国一律最低賃金制の確立を求める意見書の提出を求める陳情

▼すべての労働者に、安定した雇用と１日８時間の労働で暮らせる人間らしい働き方を求める意見書の提出を求める陳情

▼保育士の人材定着・確保のため、職員配置基準と公定価格を抜本的に改善し、大幅増員と賃金の引き上げを求める意見書の提出を求める陳情

議決結果一覧表

（※）…賛否が分かれたもの

【企画総務委員会関係　２議案】
・刈谷市手数料条例の一部改正について　**当選**
・刈谷市都市計画税条例の一部改正について　**了承**
【福祉産業委員会関係　２議案】
・刈谷市介護保険条例の一部改正について　**了承**
・刈谷市国民健康保険税条例の一部改正について（※）　**了承**
【建設委員会関係　２議案】
・工事請負契約の締結について（仮称）刈谷スマートＩＣ整備工事（橋りょう上部工）　**了承**
・訴えの提起について（市営住宅明渡し等請求事件）　**同意**
【市民文教委員会関係　１議案】
・工事請負契約の締結について（仮称）野田市民館建設（建築）工事　**可決**
【予算審査特別委員会関係　２議案】
・令和元年度刈谷市一般会計補正予算（第１号）（※）　**すべて可決**
・令和元年度刈谷市介護保険特別会計補正予算（第１号）　**すべて可決**
【議員提出議案　１議案】
・刈谷市議会会議規則の一部改正について　**可決**

■監査委員の選任について

前任者が令和元年６月30日に辞職されるため、後任として次の方を選任することに同意しました。（任期４年）

堀田（ほった）　昌義（まさよし）　氏
アイシン精機株式会社常勤監査役

■人権擁護委員の候補者の推薦について

令和元年９月30日で任期満了となるので、次の方を推薦することに異議ない旨、答申しました。（任期３年）

杉浦（すぎうら）　静（しずか）　氏（２期目）小垣江町
神谷（かみや）　智子（ともこ）　氏（２期目）宝町
都築（つづき）　楓（かえで）　氏（１期目）元町

人権擁護委員とは、国民に保障されている基本的人権を守るため、法務大臣より委嘱されています。市長は議会の意見を聞き、法務大臣に推薦します。

6月定例会提出議案の賛否

賛否が分かれたものについて掲載します。（○：賛成　×：反対）

議案名及び議決結果 ＼ 会派名及び議員名		自民クラブ							市民クラブ			無所属議員の会		公明クラブ		日本共産党議員団		清風クラブ		無所属	議長※	副議長
		渡邊 妙美	外山 鉱一	清水 俊安	鈴木 正人	加藤 廣行	山崎 高晴	加藤 峯昭	前田 秀文	鈴木 浩二	佐原 充恭	中嶋 祥元	山内 智彦	加藤 賢次	鈴木 紹男	蜂須賀信明	松永 寿	白土美恵子	樫谷 勝	新村 健治	野村 武文	山本シモ子	上田 昌哉	新海 真規	星野 雅春	稲垣 雅弘	伊藤 幸弘	黒川 智明
刈谷市税条例等の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	○
刈谷市国民健康保険税条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	○
令和元年度刈谷市一般会計補正予算（第１号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	○

※議長は、採決に加わりません。

委員会の動き

委員会では、議案、陳情の審査のほか、主に次のことについて、質問などがありました。

企画総務委員会

刈谷市総合計画基礎調査

問　本調査において、第８次総合計画策定に向けた主要課題をどのように導き出したか。

答　国・県の動向、社会経済動向の把握、刈谷市の現状、市民のまちづくり意識、第７次計画の評価などをもとに、職員プロジェクトチームで検討し、主要課題を導き出したものである。

問　将来人口推計を今後どのようにして決定していくのか。

答　市民まちづくり会議や総合計画審議会の中で案をお示ししながら決定していきたい。

その他「投票率の向上」「防災ラジオ」「刈谷駅北口周辺の迷惑駐車」などがありました。

福祉産業委員会

企業立地

問　平成29年３月に策定された企業立地推進ビジョンにおいて企業立地を進めていくとされているが、個別民間開発を誘導する一里山、野田町二ツ池地区の現在の動向は。

答　一里山地区では１社、野田町二ツ池地区では２社が立地しており、それぞれ１社ずつ操業を開始している。

問　公共主体の依佐美地区は。

答　愛知県企業庁によると今年度中に立地企業が内定すると聞いている。

その他「生活保護受給申請者の権利」「介護保険」「相生駐車場」などがありました。

建設委員会

刈谷市駅周辺地区市街地総合再生基本計画

問　計画を作成した背景は。

答　刈谷市駅周辺は、様々な要因により、商店が減少し、清閑な住宅地としての様相へ変化しつつある。また、市街地再開発の準備組合が設立されるなど、計画的に市街地環境の形成を進めることが求められていることからである。

問　整備スケジュールは。

答　準備組合の活動の中で定まってくると考えるが、支援を行い、早期実現を目指したい。

その他「ミササガパーク」「道路景観」「歩道の整備」などがありました。

市民文教委員会

多胎児支援

問　多胎児の保護者からの相談内容と市の対応は。

答　子どもの発達の違いに関することなど、多胎育児特有の悩みが寄せられており、保健師等が話を聞き、子育てに関するサービスにつなげている。

問　多胎育児での虐待を防ぐために、どのような支援が必要と考えているか。

答　保護者をはじめとする家族を取り巻く支援のネットワークを構築し、精神的な負担を解消することが重要と考える。

その他「東吉野村交流事業」「あかちゃん訪問」「待機児童の解消」などがありました。